

輸出事業計画

※申請者名：仲野産業株式会社 品目：レンコン等加工食品

1. 輸出における現状と課題

当社は2010年代前半からこれまで、徳島県農林水産部もうかるブランド推進課、JETRO徳島、鳴門商工会議所、金融機関などと連携し、各事業を活用して、海外展示会への出展、商談会への参加、英語・中国語（簡体・繁体）の海外向けホームページ作成、輸出アドバイザーの専門家派遣を受けるなど、輸出の取り組みを図ってきた。こうした取り組みの中で、取引先や新たに引き合いを得た会社から国際認証（ISO22000）の取得を求められるが、営業体制は整えたものの、加工施設の整備、食品衛生管理に係る国際認証取得には至らず、輸出額が伸びなかった。国際認証の取得については、現在の工場は、構造物・設備が老朽化しており、安全衛生上のリスクがあるとの理由から取得が困難な状況にあると専門家より指摘されており、令和4年度HACCPハード事業により、工場の新設およびHACCP対応衛生設備の導入を行い、令和5年度にISO22000認証取得を行う。

また、賞味期限150～180日間の商品の場合、米国や豪州などへの輸送に2ヶ月程度要し、輸入バイヤーから販売店への現地流通に2ヶ月程度を要してしまうと、実質1ヶ月程度しか店頭で販売することができないため、敬遠されることが多い。現在の取引先商社からは、1年程度の賞味期限の製品が求められている。

2. 輸出事業計画の取組内容

米国・香港・台湾・シンガポール・豪州をターゲット国として選定。輸出の拡大を図るため、共通している課題へ対応し、加工、流通および販売の改善を図る取組を進める。

【加工】

取引先や新規に引き合いを得た会社が求めるISO22000認証の取得に向け、専門家のアドバイスを受けながら、新規加工製造機器の選定及び導入等を行う。具体的には、令和4年度にHACCPハード事業を活用し、ゾーニングによって、構造上、汚染の流入・混入、拡散、交差汚染などがないように配慮された鉄骨造2階建て延床面積1,255.00㎡（379.64坪）となる加工工場の新築、病原性微生物の増殖リスクを低減するための調理殺菌装置や急速冷凍設備や真空包装機、フードディフェンス対策としての監視カメラ設備、異物混入防止対策としての金属検出機やX線装置といった機器整備等を実施する。令和5年度には専門家の指導を受けるとともに、社外セミナーへの参加や社内勉強会などを積極的に実施して、社員の食品安全に係る能力を開発し、ISO22000認証を取得する。

<米国>

バイオテロ法305条の規定に基づき、食品を製造／加工、梱包、保管する施設は、米国食品医薬品局（FDA）に登録することが義務付けられている。外国施設を登録する場合には、米国代理人を指定する必要があるため、取引先商社と連携して登録する。

【流通】

賞味期限を1年以上に延長するため、遮光性・機密性に優れた包装への変更、冷凍保存やレトルト殺菌を行う商品の開発を行う。そのため、令和4年度にHACCPハード事業を活用し、こうした加工を可能とするとともに、HACCPに対応した機器整備等を実施する。

<米国>

グルテンフリー表示は、食品アレルギー表示および消費者保護法（FALCP）に基づき、グルテンフリー表示規則が施行されているため、当社原料の分析および原料サプライヤーからの分析証明書など、科学的な分析を実施するとともに、民間グルテンフリー認証サービスを検討する。

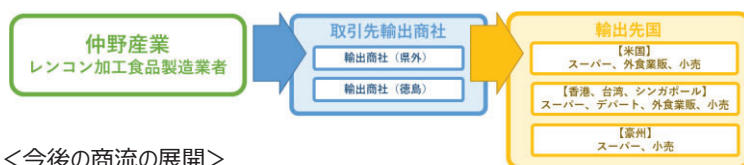
<豪州>

グルテンフリー表示は、豪州・ニュージーランド食品安全基準（ANZFSC）によって、許可されない限り禁止されているため、科学的な分析を実施するとともに、米国向けと同様に民間のグルテンフリー認証サービスを検討する。

【販売】

<現在の商流の状況>

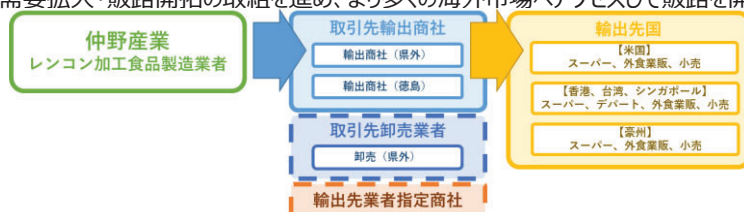
これまでの輸出においては、主に加工食品を海外向けに展開する輸出商社を経由した商流となっている。



<今後の商流の展開>

今後の輸出においては、既存の取引先輸出商社を経由した輸出に加え、コロナ禍によって著しく需要が減少している主に業務用加工食品を扱う卸売業者の取引先数社と連携し、本輸出事業計画に基づく輸出拡大を図っていくことに合意している。

また、徳島県、鳴門市、板野町といった自治体、農林水産省（GFPコミュニティ）、JETROなど、省庁や機関、商工会議所などの団体と連携した取り組みをさらに強化し、現地商談会等への参加・出展がなかなか難しい状況の中では、オンライン商談会などの取組を積極的に利用し、需要拡大・販路開拓の取組を進め、より多くの海外市場へアクセスして販路を開拓していく。



輸出事業計画

※申請者名：仲野産業株式会社 品目：レンコン等加工食品

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

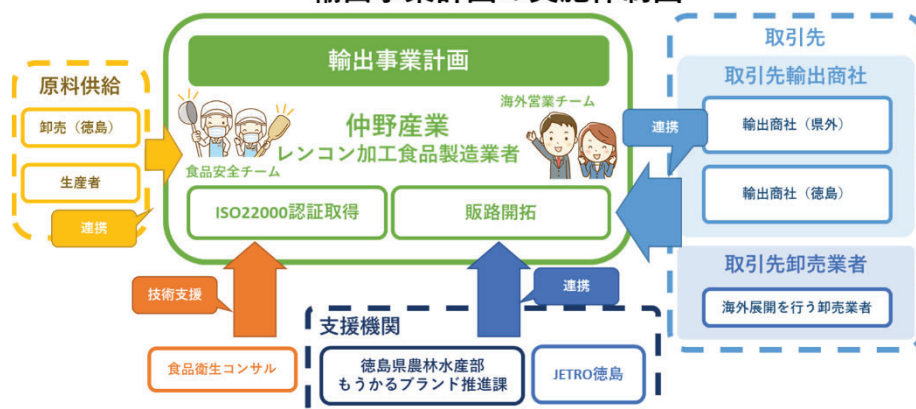
販路開拓については、海外営業チームが担当し、本輸出拡大の取り組みに合意している取引先と連携するとともに、支援機関の後方支援を受けながら新規開拓を目指す。

輸出規制に対応した食品衛生管理については、食品安全チームが担当し、食品衛生コンサルタントから技術支援を受け、ISO22000の認証取得を目指す。

また、原料供給を担う卸売業者やレンコン生産者との連携強化を図り、輸出先で求められる製品の安定的な質と量を確保する。

特に、海外営業チームは、既存の取引先輸出商社を経由した輸出に加え、コロナ禍によって著しく需要が減少している主に業務用加工食品を扱う卸売業者の取引先数社と連携し、本輸出事業計画に基づく輸出拡大を図っていくことに合意している。また、関係機関、団体と連携した取り組みをさらに強化し、海外バイヤーとの直接の商談により紹介される指定商社を経由した商流とすることによって、より多くの海外市場へアクセスして販路を開拓していく。

輸出事業計画の実施体制図



4. 輸出目標額

HACCPハード事業によって、取引要件となっているISO22000認証取得を達成し、以下のロードマップの通り、輸出目標額を計画する。

輸出事業計画のロードマップ										事業実施主体名： 仲野産業株式会社															
	年度	令和4年度				令和5年度				令和6年度				令和7年度				令和8年度				令和9年度			
	四半期	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4
加工	新工場建設・機器導入					認証準備				市場からのフィードバックによる商品ラインナップの多様化															
							認証取得														認証更新				
流通						賞味期限の長期化				商品ラインナップに合わせたパッケージ・保存方法の開発															
						グルテンフリー認証取得検討																			
販売						既存輸出商品の販売促進				1. 市場からのフィードバックによるPDCAサイクルの実践 2. 既存取引先との連携による新たな市場（分野）への販売促進 3. 現地渡航を含む積極的な展示会・商談会への参加 4. 販路開拓を推進する海外営業チームの組織力強化															
						オンライン商談会等への積極参加																			
予定輸出国・地域		米国/香港/台湾/シンガポール/豪州/中国/スイス				米国/香港/台湾/シンガポール/豪州/中国/スイス				米国/香港/台湾/シンガポール/豪州/中国/スイス				米国/香港/台湾/シンガポール/豪州/中国/スイス				米国/香港/台湾/シンガポール/豪州/中国/スイス							
目標輸出金額 (単位千円)		6,300				10,800				19,000				30,900				42,350				58,100			

各ターゲット国における目標は以下の通り。

<米国>現状では大手スーパー、小売店、オンラインショップなど消費者向けに1,131千円販売しているが、これまでの商品のほか、米粉を使用したグルテンフリー商品や他社加工のかんしよ加工品の販売も見込まれているため、令和10年6月期に13,500千円の販売を目指す。

<香港、台湾、シンガポール>現状では大手スーパー、日系デパート、小売店など、消費者向けに2,116千円販売しているが、取引先卸売業者との連携によって、流通、外食産業向けへの販売が見込まれており、令和10年6月期に31,500千円の販売を目指す。

<豪州>現状では大手スーパーなど消費者向けに257千円販売しているが、これまでの商品のほか米粉を使用したグルテンフリー商品や他社加工のかんしよ加工品の販売も見込まれているため、令和10年6月期に10,600千円の販売を目指す。

レンコン等加工食品の現状及び目標（単位：千円）

輸出国	輸出実績額 (R3.6)	輸出目標額 (R10.6)
米国	1,131	13,500
香港	1,920	11,500
台湾	155	10,000
シンガポール	41	10,000
豪州	257	10,600
その他（中国・スイス）	82	2,500
合計	3,585	58,100